

2017年度 恵星幼稚園「保護者アンケート(外部評価)」のご報告

2017年度の保護者アンケート（学校関係者外部評価）の集計をご報告いたします。
 今年度も保護者の皆様のご協力ありがとうございました。貴重なご意見・ご感想をいただき感謝しています。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定される表現は避けて記載しています。また、回答が必要なものに関しては、職員会議・理事会で園の考え方や今後の対応を検討した結果を公開しています。いただいた内容は全職員で共有し、皆さまのお気持ちをよく受け止めて今後の保育に活かしていきます。この機会に限らず、ご意見やご質問があるときはいつでもお気軽にお申し出ください。

A：よくできている B：だいたいできている C：あまりできていない D：全くできていない

	内 容	A	B	C	D
1	子どもは、幼稚園での生活を楽しんでいる。	55	11	1	
2	幼稚園は、キリスト教保育を通して「見えないものに目を注ぐ心」や「人を思いやる心」が子どもの中に育つよう心がけている。	54	13	0	
3	幼稚園は、生命を尊重する心や社会性のルールを守る指導をしている。	47	19	1	
4	幼稚園は、子どもの自主性や意欲を大切にしている教育活動をしている。	63	3	1	
5	幼稚園は、自然とふれあう経験を大切にしている教育活動をしている。	49	18	0	
6	幼稚園は、子どもたちが喜んで身体を動かして遊ぶよう努めている。	58	9	0	
7	幼稚園は、あいさつや手洗い・うがい、洋服の着脱、食事のマナーなど生活に必要な習慣が身につくように指導している。	32	33	2	
8	幼稚園は、食育を通して子どもたちの食に対する興味・関心を深めたり、郷土の文化を継承することの大切さを伝えている。	62	5	0	
9	幼稚園は、縦割保育の実践を通して子どもたちが異年齢での関わりを深め、さまざまな子がいることを認めながら、互いに成長を喜び合える環境をつくっている。	61	6	0	
10	幼稚園は、どの子にも安心して過ごせる環境を整えるよう努め、あたたかい雰囲気がある。	57	9	0	1
11	幼稚園は、園だより、クラスだより、保護者会、各行事などを通して、教育方針や具体的な取り組み方を分かりやすく伝えている。	59	8	0	
12	幼稚園は、保育参加・各行事・ボランティアなどの保育の公開の場を設け、保護者に幼稚園を理解してもらう機会をつくっている。	55	11	0	
13	幼稚園は、未就園児の親子参加の会（ひかりクラブ）を通して、地域の子育て支援の場となるように努めている。	56	10	1	
14	幼稚園は、子どもの安全を考えた防災・防犯対策や指導を行っている。	42	25	0	
15	教職員は、協力し合って園児の保育にあたっている。	59	7	1	
16	教職員は、保護者の悩みや子どものことについて気軽に相談にのってくれる。	51	12	3	1
17	教職員は、電話や来園者などに対し誠実な対応をしている。	57	9	1	
18	保護者として、子どもがこの園に入園して満足している。	56	10	1	

※評価の枠をまたいで記入された分（BとC、CとDの間など）は、低い方に集計しています。

園の総合的なあり方

- 親として園に求めるものはそれぞれだと思いますが、私は恵星幼稚園の園内に入った瞬間から感じられるアットホームさがとても良いと思います。これは親子共に感じられるものだと思います。アットホームさの中のけじめがきちんと感じられる部分もとても良いなと思っています。
- 幼稚園の「おうち」のような雰囲気も、先生方の子ども一人ひとりを見つめて尊重してくださる保育も、園だよりや行事などを通してたくさん知ることができ、何より子どもが毎日を楽しみにしている姿を見る度に、恵星幼稚園の素晴らしさを実感させていただいています。三年間、温かい眼差しで、親子共々にご支援いただいたことを深く感謝しています。
- 文句なし。
- 恵星幼稚園の良い点は、より良くするために、毎年新たな試みをされていることだと思います。今年は、今までよりもクラスでの活動が多いような印象がありました。（食育やひかりのこ会など）子どもが園での出来事を伝えてくれる時も、ほとんどがクラスの友だちや先生についてですし、クラス内のつながりが一層強くなった年だったのではと思われます。
- あっという間の三年間でしたが、毎日笑顔で登園し、笑顔で帰ってくるのが、全てを表していると思います。とてもここには書ききれません！安心して通わせられました。
- 子どもたちがのびのびと幼稚園を楽しんでいて満足している。
- 良い点はたくさんあります。子どもたちがのびのびとしていて、私のことを知らない子もすぐに「だれのお母さん？」と聞いてきます。知らないことへの恐れや不安ではなく、ワクワクや楽しみや興味にとれていることは、日頃の安心という大きな土台あってこそだと思います。家庭でのことにも耳を傾けて話しかけてくださる姿は、子どものみならず親も安心をもらっています。
- 子ども本人が「楽しかった(^o^)」と思える園生活でした。多忙な先生方の毎日に感謝です。
- 五年前、恵星幼稚園を選んで通園することができたことに感謝しています。子どもだけでなく、親の私自身、たくさんの学びを得ることができます。イキイキとした子どもたちを見ていると、心から嬉しい気持ちになります。
- 毎日安心して送り出しています。子どもも幼稚園が大好きでとても楽しんでます。
- 恵星幼稚園の良いところは、子どもに対して上から押し付ける教育ではなく、それぞれの子どもの自主性を重んじる教育をしているところだと思います。やりたくない事・気分が乗らない事を無理にさせられることがないので、子どもも一度も幼稚園に行きたくないと言ったことがないくらい楽しんでます。保護者の悩みなどにも相談に乗って励ましてくれるのでとても心強かったです。この一年間で成長したことは、下の子に対する接し方だと思います。年長だけの活動もたくさんあり、普段体験できないことを経験できて、心身共に成長できました。小学生になる心構えなどももっと話してもらえるといいなと思います。
- 年少年中の頃、改善してほしい点などに、思いも少しありましたが、年長になり、少しずつ消えました。三年と言うスパンを考えてのことだったのかなと、今となっては思います。本当に感謝しています。
- 親子共々、成長できる園だと思っています。恵星幼稚園でなかったら、こんなに穏やかに子育てができていなかったのでは…と思うほどです。先生方が我が子のように子どもたちを可愛がってくださるところも素晴らしいです。常に一生懸命な姿勢が伝わってきます。これからも、園らしい取り組みを通していってほしいです。
- 異年齢の関わりを通して育ち合う点は良いと思う。先生方が、一人ひとりの個性を認めて、主体性を大切に、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、丁寧な保育をしてくださっていることに感謝します。
- 毎月の予定表が改善され、最初は慣れませんでした。今はとても見やすく感じています。わかりやすいです。のびっこデー、クリスマス祝会、食育など行事をこなしていただくだけでも大変なのに、毎年いい方向へと変わっていくところに感動すら覚えます。本当に恵星幼稚園にして良かった。もうすぐ卒園ですが、入園説明会で、ここにしたい！と感じた直観は間違っていないと思います。

○入園してから三年間、もうすぐ卒園するのが寂しいです。本当に恵星幼稚園で三年間を過ごすことができ良かったと思っています。子どもたちのことを一番に考えてくださる点、子どもたち一人ひとりにたっぷり愛情を注いでくださるところ、先生方全員が子どもたち全員を知っている安心感、ペアさんとのつながりが強まる縦割り保育…良い点は書ききれないくらいあります。園日よりやけいせいばたけなどのおたよりもファイルしてとっています。子どもが大きくなったら見せてあげたいと思っています。

具体的な保育に対して

○食育を部屋ごとにするすることで、つき・ひかりの子たちも活動に参加することができて、食に興味を湧いたのではないのでしょうか。

○今年度は昨年度よりも行事の時間が短くて、子どもたちも保護者も集中して参加できたように思います。次年度もそのようにお願いしたいと思います。

○子どもが何よりも楽しんで幼稚園生活を送っているのも特に改善はない。以前よりセキュリティがしっかりしていて安心できる。

○普通の幼稚園では、保育参観が当たり前な中、保育参加という貴重な経験をさせていただけたことが本当に嬉しく思います。日常の子どもたちのようすを見ることができ、とても素敵な制度だと思います。

○縦割り保育でたくさんの友だちと遊べる場所。

○先生方が作ってくださる「けいせいばたけ」、先生方の負担にならなければいいなと心配しつつ、毎回家族みんなでも楽しく読ませていただいています。

○恵星幼稚園に入園して良かった！と日々思っています。とにかく「感謝」の一言です。子どもたちへの温かいまなざしはもちろん、ご年配の先生からは保護者までも温かく見守ってもらえていることを感じます。質問に対して「B」と答えているところは、恐らく「A」だろうが、保護者にははっきりそうだとわかりづらい部分があるので「B」と答えました。例えば、14の項目のために避難訓練をしたなら「子どもたちと『こんな点に注意して避難しよう』と確認して訓練を行った」など、クラスだよりの端っこに載せるなどすると、保護者にもわかりやすいし、家庭でもおさらい等しやすいのかなと思います。そういえば！！子どもの見事なまでのピーマン尻がキュッと上がってきました。たくさん身体を動かして遊ばせてもらってるからだなぁと。

➡貴重なご指摘ありがとうございます。今年度は避難訓練の様子をおたよりに載せていなかったことに気がきました。また同じような記事だと感じられるのでは…と毎年載せてないこともあります。その年に入園された方には全て初めてのことでありますから、出来るだけ丁寧にお伝えするようにします。項目によっては三年間を通して伝わることもあると思いますので、長い目で見ていただけると幸いです。

○ひかりのこ会は、場所が狭くても今まで通り全員の姿が見たかったです。人を思いやる心、互いの成長を認め合える仲間が出来たこと、いろいろな経験を通して多くの興味関心を持つ環境をつくってくださったことに感謝します。

➡園としても数年かけて話し合い、学年による活動を見せることにどうしても大人の「こうあらねばならない」という価値観を払拭しきれず、初めて部屋ごとの会にしました。このアンケートはひかりのこ会の前にいただいたものでしたので、まずは今年のひかりのこ会での子どもたちのようすをご覧になっていただきたいと思います。会の後には、一人ひとりのようすや子どもたちの関係性がよくわかり、クラスごとの取り組みで良かったという感想をたくさんいただきました。これからもどのような方法がベストかを考えていきます。

○縦割り保育のおかげで、いろんなことにチャレンジできる環境が良いと思いました。縄跳びや竹馬など年上の子ができていると、自分もできるかも…とやる気になっています。自由遊びの時間が多いので、同じ遊びばかりしているように感じます。みんなで遊びをする時間がもうちょっとあってもいいのかなと思います。

➡自由遊びはまず自分がしたい遊びを満足するまで繰り返す中で、たくさんの力がついてきます。同じように見えて実は毎日違う小さな発見をしています。その中で、新しいことにも自然に興味を湧いたり、やり方を身に付けたりできるようにと、教師は働きかけています。三年間過ごす中でたくさんのが芽吹いたり育ったりしていきますから、ご一緒に見守っていきましょう。

○毎週大変だと思いますが、写真付きでの園のようす（けいせいばだけ）がわかって嬉しいし、楽しみにしています。恵星の良さが無くなるかもしれませんが、英語とか取り入れてくれるといいなあと思います。

➡「けいせいばだけ」を楽しみにして下さってありがとうございます。恵星幼稚園の保育の中で大切にしていることは園の要覧に書いていますので、ご参照ください。

○この一年でまた一つ成長した気がします。いつでも温かく見守ってくださり、必要な時に必要な分だけ手助けして下さる先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。秋に園外保育や食育が偏るので、年間を通して均等に行っていただければありがたいです。気候もあるでしょうが、暑くても寒くてもどんどん外に出てほしいです。ほしぐみだけでなく、つきぐみも山登りや少々きついことも入れてほしい。パン給食のジャムパンはなくても良いのでは…と思います。

○一人ひとりのことをよく見ていてくださり、自主性を重んじてくださっていると感じる。おたよりや絵本ノートで、子どもの様子もよくわかり、安心して幼稚園にお任せできる。食育でも、親が危なくないかなあと思ってなかなかさせられないこと（豆腐の手切りやごぼうのさがきなど）も注意深く見守り、意欲をうまく伸ばして下さり感謝です。冬場でもお散歩程度でも良いので、外で身体を動かしたり、自然を感じたりできればもっと良いなあと思います。

○パン給食の量を考えてほしいです。給食というからには子どもに十分お腹を満たされる量であって欲しいです。全学年、量が同じなのはどのようなのでしょうか。不足分は持参しても良いのは理解していますが、今一度考えてくださると幸いです。

ケガをした時のマキロン使用をやめてほしいです。水で洗えばんそうこうを貼るだけで充分です。マキロンをすると正常な免疫細胞も破壊され傷の治りが遅くなります。

園でケンカした際、先生から「友だちと」と連絡を受けますが、先方のお母さまにもひとこと謝っておきたいこともありますので、名前を教えてくださいと助かります。

学年ごと、部屋ごとの園外保育、春日公園ではなくちょっと遠出もしてほしいです。自然に触れる機会のない子どもに、今しかできない遊びをすることで経験になると思います。

誕生児を年度始めに教えてほしいです。誕生会にコーラスの方がいつも歌ってくださっていますが、誕生児のママが歌うと子どもはとても嬉しいと思います。当日は作業もあり、時間配分が難しいですが、ほんの2、3分。それがきっかけでコーラスに入るママが増えるかも。

子どものどもの配本を考え直してほしいです。ホームページにも絵本の大切さを書かれていましたが、何でもない絵本を読み続けることはどのようなのでしょうか。質の良い絵本、文学としての絵本に出会うと、子どもの成長は違います。毎月絵本を買うなら、質の良い絵本を買い与える方が、子どもの感情は成長し、考える力を養っていけると思います。保護者の方々もやはり絵本について知らない方が多いのも確かです。園で絵本の大切さを言っているのであれば、ちゃんとした絵本を選択できる環境でないといけないのではないのでしょうか。質の良い絵本は全てを語りません。八割程度にとどめているそうです。想像力を生み、子どもの心に残るそうです。そして十割語ってしまうとくどい内容になり、子どもの考える力が育たないそうです。園の中にも質の良い絵本はたくさんあるはずですが、その絵本を雑多に置くことで子どもたちが本来必要であるべき本を選択できなくなっているように感じます。おもちゃも同じことが言えると思います。質の良いおもちゃは子どもの考える力を育み、想像力を生みだします。絵本も同じです。子どもの本やの井上さんにご享受してはどうでしょうか。

今年度、縦割りを重視ということで、部屋の一体感が以前よりあったように感じます。食育も通常なら台所でほしのみ作業しますが、お部屋のみんなで作上げることで、つき・ひかりの子も自分が作ったという思いが出て、料理を一層美味しく食べられたように思います。ただ、ほしになると三角巾にエプロンつけて台所で作るのが例年であったので、子どもの中には戸惑う子もいたかもしれませんが、ほしがつき・ひかりに教えることができるようになるので、私は、これはこれで良かったように思います。

○月刊の本の配布についてですが、なぜ配布が販売よりだいぶ遅いのでしょうか？正直、気になる特集があると待てずに本屋さんで読んでしまうので、いつも新品同様です。子どもの絵本も持って帰った日+2~3回しか読まずただ増えていくので、もったいないなあと感じます。毎月絵本がもらえるのは良いかもしれませんが、親としては二ヶ月に一回でも良いから何回も読みたくなる絵本の方が嬉しいなあと思います。先生方がお忙しいなら是非図書ボランティアに任せてはどうでしょうか？

○食育の質と同等に絵本の質ももっと大切にしていきたい。たくましい身体、柔らかい身体、生きることを大切に伝えておられるように、絵本の質を高め、もっと自由にもっと心に寄り添う、聞くだけではなく心が動く絵本に力を注いでほしい。フードロスが最近大きく取り上げられているように、不必要な絵本をどうしたら良いのか…結局古紙回収に出すだけで、その分の金額を良い絵本購入代金と変換できると思う。

→『こどものとも』など月刊絵本について…『こどものとも』はこどものとも社から配達後できるだけ早く園で子どもたちに読み聞かせて配本するようにしていますが、本屋さんに並ぶよりは遅くなります。園で読んでもらって持ち帰ると、ただ渡すのでは、子どものその後の興味の持ち方も違うからです。母の友の特集を早くお読みになりたい月はお申し出くだされば早めにお渡しすることもできますので、無駄にならないようにしてください。昨年度も『こどものとも』は任意にしてほしいというご意見に対して以下のようにお答えしました。[福音館書店は子どもや母親に寄り添って編集・本づくりをしている出版社だと認識しています。毎月の配本の中には好き嫌いや質に疑問を持たれる場合もあるかもしれませんが、自宅で何度も繰り返せる自分の絵本として楽しみにしている子どもたくさんいます。任意となると、保護者の意向で子どもへの機会が均等になりませんし、園が選書して配本しても、好みの違いや、すでにお持ちの方がいらっしゃるなど問題が出ると思います。園としては何より、どの子どもにも親子での読み聞かせの経験を保障したいとの思いで数十年続いている配本ですので、どうかご理解くださいますようお願いいたします。]

基本的にはこの考えですが、次年度からは絵本に記名をして渡し、もっと保育の中で活用して親しめるように取り組むよう話し合いました。

子どもの本やの方にもお話を伺いました。子どもにも絵本の好みや興味の持ち方に個性があり、親とは違う視点で好きな本があったりしますから、子どもの感じ方に大人が新しい気づきを得られることもあるという園の考えに共感しておられました。また、ご指摘の通り、絵本でも十割説明してしまい、上から作り手が「こう感じなさい」という姿勢が良くないのと同様に、これは良い本、これは良くない本と決めつけず、その人個人の心が動いたかどうか大切にしておっしゃっていました。文学としての絵本を聞き手である子どもに橋渡しするのが読み手の役割ということは、園でも心掛けています。これからもリスペクトできる作品を増やしていきたいと思っています。年度末に蔵書を整理し、あらたに絵本増やしていますので、貸し出しの際に共有してください。図書ボランティアの方々にはいつも感謝しています。毎年メンバーも入れ替わる、あくまでもボランティアの方に、園の普遍的な仕事をご負担いただく訳には参りません。私たちも引き続き、学びを深めていきます。このようにして、保護者の方と園とで子どもが手にするものをより良いものにしていくよう、考え合えることに感謝します。

→パン給食について…確かに給食とは栄養士や調理師によるものを提供することでしょうから、次年度からは「パンの日」と呼ぶようにします。週に一度くらいはお弁当を作らなくてもいい日があってもいいのかなと古いお付き合いで卒園生が頑張っておられるパン屋さんに長年お願いしています。量については本当に個人差があり、学年で決められないのです。今の量でも必死で完食している年長さんもいますし、補食をもってくる年少さんもいます。やはり量や栄養が足りない分はご家庭から持参していただきたいと思います。お弁当にしてもパンにしても、まさにフードロスにならないよう、教師は基本的に完食を勧めますので、どうしても事情のある方は担任に相談してください。パンの日もすべて持参されている方もおられますので。

→外に出ることについて…季節に関わらず毎日園庭での外遊びを大切にしていますので、「外に」というのは園外のことかと思えます。園の立地がマンションに囲まれた自然の少ない環境ですから、その中でいかにして身体をつくっていくのかを大きな課題として取り組んでいます。近くの車道を散歩するよりも園庭の方が安全に思いきって身体を動かせるので、園外保育は自然を充分楽しめるよう遠出をすることになります。今年度は体力作りというより社会科見学のように春日原地区を縦割りクラスで散歩しました。今後も縦割りでも出かけることができないか検討を重ねます。

→誕生会のコーラスについて…誕生会のメンバーがわかるように年度初めにクラス名簿をお知らせする際、誕生月まで入れることにします。コーラスに入るきっかけが「誕生会で歌いたいから」という方もおられますので、是非コーラスに入られてはいかがでしょうか。子どもたちはお母さんが歌ってくださることをとても喜んでいて、歌うのは苦手という方にも選択肢を残したいと考えます。

→ケンカの相手について…相手を隠しているわけではありませんので、尋ねてくださればお答えしています。ただ、園で起こったことは園の責任として保護者の方にお詫びをしています。

➡消毒について…園医に相談し、十分に水で洗えば消毒は必ずしも必要はないとのことですので、今後は使用しないことにします。

子どもの成長

- 一人っ子ですが、縦割り保育のおかげで異年齢の子との関わりを深め、情緒的に発達していると感じます。昨年は年中のお姉さんたちとおままごとをよくしていたようですが、今年は年少さんたちとよく遊んでいるようですし、年長の男の子とも遊ぶようになったようで、夫婦共、我が子の話を聴くのが楽しいです。
- 末っ子の我が子が、同じ部屋の年少さんのことを「かわいい」と話してくれたり、少しリードしながら一緒に遊んでいる様子は、今まで家では見たことのない一面で、嬉しく思いました。いろんな年齢の子と一緒に過ごせる良さを感じています。
- 入園前は、園生活（集団生活）へ加わることへの不安が大きかったけれど、友だちと楽しそうに遊んでいる姿や、先生との会話を聞いて、こちらの園に入園できて本当に良かったと思っています。縦割り保育を通して、弟のお世話も上手になりました。
- 横割り保育にも横割りの良さがあると思うのですが、この一年毎日縦割り保育の中で過ごしてきて、異年齢の子どもたちの姿を見て学んでマネをして…。我が子にとって充実した毎日を過ごしていたと思います。また、来年が楽しみです。
- 三年間お世話になりました。一年前にはできなかったことお箸の持ち方も、友だちとご飯を食べる上でみんながちゃんと持っているのを見て学んだり、自分からお手伝いをしてくれたり、成長しているなどと思います。
- 今年は園での最終学年でしたが、「入園してから一度も幼稚園にいきたくない！と言ったことはないなぁ」と思い返しています。特に、縦割り保育の成果か、「人を思いやる心」はぐんぐん育ってきたと思います。今のままの幼稚園で、たくさん子どもたちが育っていけることを願っています。

教職員との関係性

- 一人ひとりの園児を温かく見守り、その子らしさを認めて伸ばしてくださっていることを感謝します。無理強いせずに、子どものペースに合わせて待つことの大切さを園から教えてもらいました。保護者に対しても同じで、親として未熟な部分を先生方もたくさん気付かれているとは思いますが、けっして否定することなく認めてくださいます。幼稚園の先生というよりは、一緒に子そだてして下さる仲間のように心強く感じました。先生方一人ひとりが素晴らしくて、園だよりの言葉やお話させていただいた時の言葉にたくさんの気付きや学びがありました。親子共に育てていただいたかけがえのない三年間でした。卒園するのが名残惜しいです。
- 子どもの園でのようすや成長を担当の先生だけでなく、どの先生からも聞くことができ、先生全員が子どもたちのことをしっかりと見てくれていることがわかり嬉しかったです。不安に思うことがあり相談すると、きちんと話を聴いてくれて支えてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。
- 恵星幼稚園の先生は皆信頼できる先生なので全力でお任せしています。
- 今年も一年間、子どもは毎日楽しく園で過ごせていたようです。行きたくないなどいとぐずったことは一回もありませんでした。私自身が幼稚園生だった頃は「行きたくない」と随分母を手こずらせた記憶もあり、本当に園がすごく楽しいんだろうなと、ただ感謝するばかりです。朝、送りに行った時、お迎えに行った時、絵本ノートで、いろいろな機会に何人もの先生が子どもの園でのようすを聞かせてくださることも、たくさん目の目が子どもたちを見守ってくださっているのが感じられて、とても安心できます。
- 子どもに心配なことがあった時、先生がすぐに話を聴いてくださりとても助かりました。また、子どもに対しては良い点を見つけて、小さなことでも褒めてくださるので、自信を持って物事に取り組んでいるように感じます。
- 子どもだけでなく、保護者にも目を配っていただけて、とても心強くまた嬉しく思っています。

○毎日、通園を楽しみにしており、子どもらしくのびのびと成長してくれているこの一年でした。わかってはいつも、子どもの自主性や意欲を大切にすることに時間を追われ、親都合で物事を進めてしまいがちですが、先生方はいつも子どもときちんと向き合っていて頭が下がります。

○しっかりと子どもの姿を見てくれ、成長しているところなど教えてくれ、幼稚園でのようすがよく伝わってきます。

○入園式の日すぐに子どもの顔と名前を先生方が覚えて声かけして下さったことが、とても暖かく感じられ、新しい生活に多少の不安があった子どもも親も初めから安心して通わせていただけたあとだと思います。縦割り保育を通じて、子どもたちで教えたり、手伝ってくれる環境もとてもいいなと思います。

○先生方が一体となって、子ども一人ひとりのことを考えてくださっている園です。子どもの気持ちに寄り添い、物事に対してさまざまなアプローチをして下さったり、子どもの長所を知ろうとくださる姿勢に感謝しています。

○子どもたちの自主性を伸ばすことに重点を置いて、温かい雰囲気の中でのびのびと教育して下さり、感謝しています。ただ一点、保護者としての意図が先生方に伝わらずに一年間思い悩むことが多く、苦しい思いをしました。もう少し相談しやすい雰囲気があって、何でも相談できたら、次年度以降の保護者や子どもたちにとってもより素晴らしい幼稚園になると思います。

○一年間、バタバタで、何もかも初めてのことであったので、必死で行事に挑んでいました。良い点は、みさとっこを履くとか、自然なものを使って竹馬など、自分たちで作ったものに触れることが出来ている点です。改善してほしい点は特にありませんが、ごくたまに延長にしていけないのに、延長になっていて、「え？」と見られるところです。自分のミスの時もあるので、そこまで気にしていませんが…。

○少人数だからこそ、どの先生もどの子どもも、クラスや年齢に関係なくお互いによく知って深く関わっていることがよくわかります。今年は特にお部屋（たてわり）での活動が多く、たくさんの友だちと楽しくすごしていたようでありがとうございました。一つだけ、何かを伝えた時に、他の先生に伝わってなくて、「あれ？伝えたんだけどな。」と思うことが何度かありました。私はそんなに気にしませんが、気にされる方もいらっしゃるかな、と思いました。

➡**教師との行き違いや理解不足について…**教師間の連絡が行き届いていないことがあり、申し訳ありません。今後も一層取りこぼしのないよう職員間の連絡を密にしていきます。尚、欠席・遅刻・延長の確認は朝礼（8:20）で行っています。危機管理上、人数確認は常に必要ですので、8:15までの電話連絡にご協力ください。相談がしづらく感じられたことも申し訳なかったです。昨年度と比べて教師と顔を合わせる機会が少なくなれたのではないのでしょうか？送迎でひとことでも言葉を交わせることで随分違ってくると思いますが、お仕事などで出来ない場合は不安に感じられることを連絡ファイルなどで伝えてくだされば、担任から電話しますので、遠慮なくおっしゃってください。

※保護者の方の文章はほぼそのまま載せていますが、感謝やお礼の言葉は省略しました。